

輪島地区 道路復旧・復興促進協議会（第1回）

議事概要

1. 日時：令和 6 年 12 月 24 日（火）11:00～12:10
2. 場所：輪島市役所本館 4 階 第 2 会議室
3. 出席者：別紙「出席者名簿」の通り
4. 議事：
 - 1) 設立趣旨、規約（案）について
 - 2) 長期通行止め区間の被災状況と応急復旧状況について
 - 3) 本復旧に向けた課題、調整事項等
 - 4) 今後の進め方
5. 開会（挨拶：川村会長）

地震発生後ほぼ一年が経過する。被災者は生活再建やなりわい再建に向け進み、来年こそは元の生活に戻りたいと決意していたが、9月21日の豪雨で、その決意も吹っ飛び心が折れたとの声も聞こえてくる。

最近の住民アンケートでは、復旧復興の遅れを約 3 分の 2 の被災者が感じているようである。一方で、道路河川などの社会インフラの復旧は、国交省や石川県の懸命な努力の中で、孤立集落の解消や道路啓開等を進め、被災者から感謝されていることを肌で感じている。

ただ、未だ本復旧には至らず、道路の復旧時期も未定な状況である。本日の協議会をきっかけに、国交省、石川県が本復旧に向けた課題などの情報共有を行うことで、再度復旧復興のアクセルを踏まなければならない。

6. 議事概要

- 1) 設立趣旨、規約（案）について

資料 1-1、資料 1-2 を用いて事務局より説明

- 2) 長期通行止め区間の被災状況と応急復旧状況について

<国土交通省能登復興事務所>

国道 249 号の被災状況等について説明（資料 2-1）

- ・中屋トンネル工区、大谷トンネル工区は復旧に時間を要するため、県道市道を迂回路とした通行確保を目指している。
- ・大川浜工区は今月 5 日に、千枚田工区は今月 20 日に通行確保済み。
- ・逢坂トンネル工区については今月 27 日に、中屋トンネル工区は今月 25 日に県道市道を活用して通行確保の予定。
- ・中屋トンネルを活用した通行可能時期は、本日（24 日）午後に記者発表予定。

<石川県道路整備課>

輪島浦上線、珠洲里線の被災状況について説明（資料 2-2）

- ・県管理道路について、元日の地震で最大 42 路線 87 箇所、9 月の豪雨で最大 25 路線 48 箇所が通行止めとなり、現在 11 路線 23 箇所が通行止めとなっている。
- ・輪島浦上線は、元日の地震で 10 箇所、9 月の豪雨で 9 箇所の大規模崩落が発生。輪島市門前町浦上から下山町まで、明日（12 月 25 日）の 13 時に緊急車両と地元の方々に限定して通行確保予定。
- ・珠洲里線は、元日の地震で 10 箇所、9 月の豪雨で 7 箇所の大規模崩落が発生。宇出津町野線より西側については、国と連携しながら、珠洲里線の代替となる金蔵川西線を応急復旧として、仮設道路の整備を進めている。年内に舗装まで行いたい。雨が続けており、年明けに完了する見込み。

<石川県道路建設課>

おさよトンネルの被災状況について説明（資料 2-2）

- ・おさよトンネルは、元日の地震で大規模な被害があったが、道路啓開を行い緊急車両と地元車両に限定して通行を確保した。しかし、9 月の大雨で土石流が発生しトンネル内部に土砂が流入して再度通行止めとなった。現在、トンネル内部の土砂は撤去したが、皆月側の坑口付近に堆積した土砂について、排水対策を行いながら啓開作業を進めている。

3) 本復旧に向けた課題、調整事項等

<石川県道路建設課>

輪島浦上線、珠洲里線、おさよトンネルの本復旧方針や課題、調整事項等について説明（資料 3-1）

- ・輪島浦上線は、鶴入町地内において、大規模な斜面崩壊が発生し現在も通行止めとなっており、本復旧について現道復旧案と別ルート案を検討している。現道復旧案では、地すべり対策や脆弱な崩落土砂の撤去、急峻な地形での施工となり、復旧工事が長期化しコストが大きくなり、道路勾配も約 10%となる。これに対し、別ルート案では、トンネルを想定しており、現道復旧案と比較し短期間の復旧工事となり、コストも小さく、道路勾配も約 6%となる。
- ・珠洲里線は、宇出津町野線より東側については、現道復旧案と、北側・南側の別ルート案を検討している。現道復旧案は大規模な地すべり対策と脆弱な崩落土砂の撤去が必要で、復旧工事が長期化しコストが大きくなる。これに対し、別ルート案は比較的短期間でコストも小さくなるが、市道との接続や集落へのアクセスについて今後調整が必要となる。
- ・珠洲里線の宇出津町野線より西側については、現道復旧案と金蔵川西線と柳田里線を活用し、珠洲里線の代替機能を持たせる別ルート案を検討している。東側と同様に、現道復旧案は復旧工事が長期化しコストが大きくなるのに対し、別ルート案

は比較的短期間でコストも小さくなる。

- ・珠洲里線の宇出津町野線を挟んだ中間工区については、直轄権限代行で復旧している町野川・鈴屋川と珠洲里線とが隣接しており、復旧に際し今後国交省と調整が必要となる。
- ・おさよトンネルは、皆月側坑口については仮排水処理を行い、応急土石流対策を実施し道路啓開を行い早期の供用再開を目指している。トンネル本体については覆工の被災状況に応じ覆工改築箇所を約 20 スパン抽出。現在覆工コンクリートの取り壊しを行い、支保工やインバートの被災状況を確認している。変形が確認された箇所については支保工の縫い返しを実施する予定。

<国土交通省能登復興事務所>

珠洲里線との調整事項として権限代行で復旧している町野川・鈴屋川について説明（資料 3-2）

- ・次の梅雨までに河道の土砂撤去や護岸の応急復旧を完了させる予定であり、今後本復旧に際しては珠洲里線との調整が必要となる。

<輪島市>

市では、8月と11月に復興まちづくり計画策定に伴う住民懇談会を2回開催しており、住民から国道249号や輪島浦上線、珠洲里線、市道鈴屋寺山線など道路の復旧に関する意見や質問が多かった。

輪島浦上線や珠洲里線の復旧に際し、別ルートも視野に検討しているとのことで、接続する市道や集落アクセス等を含めて市の内部で検討し、地元調整を行いたい。

<石川県奥能登土木総合事務所>

復旧復興に際し、現場の安全管理や一般車両に対する安全対策が特に重要と考えている。

4) 今後の進め方

事務局より、長期通行止めとなっている路線の応急復旧状況や本復旧の課題への対応状況等を、今後も関係者間で情報共有し地域住民への情報発信を行うため、本協議会を随時開催する旨説明

7. 閉会（挨拶：川村会長）

関係各位の皆様には、ぜひとも健康に留意いただき、粛々と復旧復興を進めていただければと考えている。